

第 19 回感染症講演会

テーマ「新型インフルエンザに備えましょう ～あなたにできることは～」

講師：大阪府立公衆衛生研究所主任研究員 宮川 広実 氏

と き：平成 21 年 1 月 27 日(火)14 時 10 分～16 時

ところ：阿倍野区民センター 2 階大ホール(阿倍野区阿倍野筋 4 - 9 - 118)

【 概 要 】

当日は、約 300 名の大勢の市民の方にご参加いただきました。

講演は、講師の『新型インフルエンザは「死」を想像させる恐ろしいイメージがありますが、まずは今どんな状況でどんな病気なのかを正しく知ることが大切です。』という第一声から始まりました。

次のような点を中心に新型インフルエンザ対策についてお話がありました。

- ・ 鳥インフルエンザが注目されるのは、毒性の強い H5N1 亜型の感染が世界中の鳥類に拡大しており、鳥から人への感染が増え続けているため。
- ・ ウイルスは変異を続けているので、新型インフルエンザがこの型かどうかはわからない。また、新型インフルエンザへの変異がいつ起こるかもわからない。
- ・ 現在、国は、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄やワクチンの開発を急いでいる。しかし、それらに頼らず、生活必需品の備蓄や個人的衛生管理、発生地域への旅行は避ける等の個人における準備も大切である。

その他、結核や麻しんなどの予防接種率の低さについての提示もあり、能動的な予防行動を取ることとはとても重要だとの説明がありました。

最後に、私たちは自分が他から感染を受けることを先に考えがちですが、自分が感染源となり得る場合もあることを忘れずに、体調が悪いときには頑張りすぎずに休むこと、と一言強調され講演の幕が閉じられました。

